

金沢の景観をさらに 良くするためには？

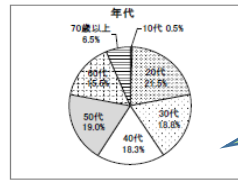
要望

歴史的な建造物が多く存在する中心部において、保存と開発の調和が課題となっている。金沢市のまちなみ保存・整備に向けた研究・提案をしてほしい。

現状（問題点）

- ・歴史的な建造物の減少
- ・観光客の年代の偏り
- ・建築物の高さの混在
- ・町家では移住者が増えている

■年代	人	構成比	23年	21年
10代	2	0.5%	0.5%	0.8%
20代	86	21.5%	16.0%	17.2%
30代	75	18.8%	19.5%	18.8%
40代	73	18.3%	15.3%	15.5%
50代	76	19.0%	20.0%	24.2%
60代	62	15.5%	17.7%	20.0%
70歳以上	26	6.5%	5.0%	3.5%
計	400	100.0%	100.0%	100.0%



若者の観光客が
少ない！

要求仕様

- ・暮らしやすい街にする
- ・若者の観光客を増やす
- ・歴史的な建造物を残す
- ・景観の保存と開発の調和

アイデア2

「スイッチポン！」

理想案

スイッチ一つ押すだけで、昔の町並みを再現

来てもらう！

アイデア1

「手すりライト」

- ・暮らしやすい 安全につながる
- ・夜間での視界を確保できる
- ・一つのイベントとして利用できる

何か、金沢らしい
音楽や色を
取り入れる

金沢は今、特に夜間景観
の開発に力を入れている



見てもらう！

アイデア3

「3Dアート」

方法

金沢駅などを中心に、地面に3Dアートを描き、金沢を訪れた観光客に強い印象を持たせる。



まとめ

「手すりライト」で町に**来てもらう**、「3Dアート」で町を**見てもらう**。

このサイクルで人を呼び、好き！を増やすことで保存と開発の調和をはかる。

プロジェクトテーマ：金沢の景観の保存と開発の調和

チーム番号 2FM2 306

メンバー 松村昂 山口大貴 原幸瑛 中川彰太 畠山達也 山本樹

担当教員 船山先生